

事務事業名		南信濃民芸等関係施設展示更新事業			会計		一般会計			
課等名		美術博物館			事業種別		政策		開始 24 終了 24	
基本計画上の位置づけ		政策 2		地育力によるこころ豊かな人づくり						
		施策 29		ふるさと意識の醸成						
目的	対象(誰・何を)	1 南信濃民芸等関係施設			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 地域住民ならびに観光客に遠山を紹介できるものとする。				圏域住民数(人)			166860	
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)				南信濃民芸等関係施設の登録資料の総数(点)			220	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	更新する展示箇所			4	4				
	定性目標									
	事業概要									
南信濃民芸等関係施設(遠山郷土館)の展示を更新する。 ・2階展示室 借用品を返却し、童画家北島新平の所蔵作品を展示する ・2階フロア 3階の霜月祭り面レプリカを移転展示し、霜月祭りのコーナーに変更する。 ・3階展示室 考古資料等を充実させ地域の歴史について展示する。 ・1階にある北島新平作品を2階に集める。										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 展示施設の整備 (1) 3階の展示室化(消防法に適合した部屋の改築) (2) 2階踊り場の展示室化(改築) 2 2階展示室および踊り場、3階の展示更新 (1) 2階展示室内への遠山の文化財の借用展示 (2) 2階展示室内への北島新平作品の展示 (3) 2階踊り場展示室への遠山霜月祭り面レプリカの展示 (4) 3階展示室への考古資料の展示 (5) 展示パネルの作成				1 改築整備した部屋の数 2 返却した資料の数(梱包数) 3 展示した登録資料数 4 借用展示した資料数 5 制作したパネル数			1 2部屋 2 36個 3 220点 4 約100点 5 24枚		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		0	3,419	3,417	0	[24特殊財源](県)市町村合併特例交付金(充当率100%)				
国庫支出金										
県支出金			3,180	3,180						
起債										
その他										
一般財源			239	237						
人件費計(千円)②		0		429						
正規職員所要時間				120						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		0	3,419	3,846	0					
事業内容・目標達成状況の振り返り		長年の懸案であった展示更新を急ぎ行うことができた。時間的猶予がなく、予算も限られたが、実現できたことで今後新たな展開を目指すことができるようになった。一部にはまだ資料更新の余地があり、今後も通常業務のなかで順次進めていき、充実を図る。								
改革改善の考え方	①問題点	遠山にある貴重な資料の管理が、住民の高齢化・過疎化などの要因によって難しくなりつつあるケースが現れてきた。								
	②改革提案	遠山郷土館に貴重な資料を集めて保管するという流れを確立する。また、特に貴重なものについては文化財指定化を目指し、その価値を周知していく。								